

ー両国高校の伝統、及び、社会的役割ー

本校は開校以来一世紀以上に渡る歴史と伝統を有し、政治・経済・学問・芸術を始め、多くの分野に広く人材を輩出してきた。生徒、保護者を始め、広く地域や都民から寄せられる期待は大きく、進学実績のみならず、社会の中核となる優れた人材の育成が求められている。

ー予想される社会の変化ー

テクノロジーの発展に帰する情報化はますます加速し、社会は変化の速度を速めることが見込まれる。複雑なシステムに対応できる高度な知識・教養のみならず、激しい変化にも対応できる柔軟性や創造性の必要性が増すであろう。一方、価値観の多様化に伴うグローバル化のさらなる進展も見込まれ、他者と共生していくための素養がより重視されることも予想されている。

校訓
自律自修

【目指すべき生徒の将来像】

- ・自らの未来を切り拓く意欲と行動力を持ち、リーダーとして活躍できる生徒。
- ・広く深い教養と知性を身につけ、社会に貢献しようとする高い志と使命感をもった生徒。
- ・健やかな心と体を持ち、世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒。

育成すべき資質・能力

知識・技能…広く深い教養と知性、体力
思考力…深く考える力、論理的思考力、数理的能力
判断力…行動力、意思決定力、情報活用能力
表現力…プレゼンテーション力、対話力、言語能力
学びに向かう力…意欲・高い志
人間性…人間関係能力、リーダーシップ・使命感

教育の柱

言語能力の育成

- ▶ レポート、発表などの活動を充実。

英語によるコミュニケーション

- ▶ 実践的コミュニケーション能力の育成。

理科・数学教育の充実

- ▶ 実験・観察の重視
- ▶ 数学的な見方や考え方の重視

「志学(こころざしがく)」～キャリア教育」の推進

- ▶ 望ましい職業観・勤労観の育成
- ▶ 社会に貢献する高い志と使命感

志(こころざし)動かめや
操(みさを)やも変はるべき

*「志学」の由来

レベル6 夢に向かって 「自分らしさを発揮する未来を見つめて」

みずから課題を見つけて、その解決に励み、強い気持ちで困難をも乗り越え、目標に向かって進みます。両国に集った仲間のつながりを大切にし、夢を語り合い、不安を共有しながら、互いに自己の実現を目指します。「自律自修」の精神を誇りに、自分の可能性を信じて、新たな活躍の場へと旅立ちます。

レベル5 果敢に挑む 「情熱をささげるものが、今、ここにある」

学校を動かす中心的存在です。行事や部活動などの集団行動で、試行錯誤しながらもリーダーとしての資質を養います。自身の目標を設定し、その実現に向けて、基礎的な学力と学びの姿勢を身に付けます。

レベル4 共に学び合い、高め合う

学習範囲が高等学校の範囲に広がり、学習方法の転機が訪れる時期です。授業を大切にし、予習・復習のリズムを身につけ、高校での学びの基礎を固めます。これまで仲間と築いてきた友情を深めつつ、互いに高め合うことのできる刺激的な集団を作ります。

レベル3 自立への旅立ち 「学ぶことの面白さが分かり始めた」

もっと知りたい、分かりたい。ふくらんだ知的好奇心が、みずからの学びをさらに深く発展させます。コミュニケーション能力を磨き、自分の考えを適切に相手に伝えます。

レベル2 自分を知り、社会を知る 「皆のために出来る自分ができることは何だろう」

支えあう生活の中で、かけがえのない自分の姿を見つけます。社会に目を向けて、人とのつながりや、働くことの大切さを学びます。

レベル1 共に歩き出す 「さあ、両国での学びの始まりです」

両国に集った仲間とともに、課題を深く考え、まとめ、発表します。授業はもちろん、行事や系の活動、部活動にも、積極的に取り組みます。

